

ELSI センターシンポジウム開催

2021年7月17日(土)、オンラインにて「中央大学 ELSI センター開設記念シンポジウム」を開催しました。本シンポジウムは、当 ELSI センターが掲げる3つの構想(①学術的研究事業、②産官学・社会連携事業、③人材育成事業)を有機的に結合し、コミュニティ形成を行いながら産学連携を推進していくことを広く社会へ訴求することを目的として、総務省の後援の下、開催しました。

“インクルーシブイノベーションにおける AI と人間の共生” をテーマとして、民間企業を含む学外の ELSI 関連の話題をお持ちの方をお招きして課題共有を行い、本学 ELSI センターの運営委員と、我が国のみならずグローバル環境下での ELSI 的課題についてディスカッションを行いました。シンポジウム内で、社会規範の新たな在り方や様々な視点からの課題があらわになり、社会的に協働する必要性を共有しました。

今後、シンポジウムで得られた課題や意見を本学 ELSI センターで引き継ぎ、上記3つの構想やコミュニティ活動を通じて、AI の社会実装や科学技術イノベーションとの共進化に向けた提言を行っていきます。



スキルのデジタル証明書「オープンバッジ」の実証実験

中央大学と一般財団法人オープンバッジ・ネットワークは、スキルのデジタル証明書「オープンバッジ」の共同実証実験を行います。

両機関が共同で実施する実証実験は、1年間(2021年6月~2022年5月)を活動期間として、中央大学がオープンバッジを発行し、その実施状況、受領者の意見や活用状況等を両者で調査し、今後の活動に資する実験や調査をすすめます。

中央大学では、全学部生参加可能な学部間共通科目「AI・データサイエンス全学プログラム」や「ファカルティリンケージ・プログラム (FLP)」において、カリキュラムを修了した学生を対象として、オープンバッジを発行します。

オープンバッジは、IMS Global Learning Consortium (IMS Global) が設定した国際技術標準規格です。近年海外で普及が進んでおり、今後、日本への浸透が見込まれます。国際標準規格のため、様々な機関からのバッジを統一して管理することで生涯学習履歴を構築することができ、また、就職活動においてもデジタル履歴書に客観的に認定された付加価値を付与することができるなど、学生の利便性も向上されると考えられるため、今回の実証実験を通じて、全学での展開を見据えた今後の活用を検討してまいります。

■ オープンバッジ デザイン案



■ オープンバッジのメリット

オープンバッジは、その人のスキルを証明するしくみであり、ビジネスの世界ではもちろんのこと、欧米の大学では学生の能力や活動を証明するものとして、すでに普及が進んでいます。日本のビジネス界でもパートナーや従業員の能力を証明するツールとして、今後ますます普及が見込まれています。さらに大学生の就職活動においても、デジタル履歴書の普及が進めば、オープンバッジが当該学生のスキルを証明する手段として活用されていく可能性があります。

■ 中央大学でのオープンバッジ活用

中央大学では、学部の枠を超えた学部間共通科目として「AI・データサイエンス全学プログラム」や「ファカルティリンケージ・プログラム (FLP)」を実施しています。これらのプログラムは、一定の要件に従い科目を履修した参加学生に修了証を発行します。

本実証実験では、修了証をオープンバッジとして発行することにより、従来の紙媒体に代わる修了証として受領者の意見やその活用状況など、デジタル修了証として効果を検証します。このほか、学内での利用希望などを調査し、その活用範囲についても調査をすすめます。

日本初 大学とケーブルテレビ局共同制作の教養番組『知の回廊』制作開始から20年

中央大学では、2001年より、日本で初めて大学とケーブルテレビ局が共同で制作する教養番組『知の回廊』をジェイコム八王子（現・ジェイコム東京）と開始し、2021年に20周年を迎えました。

大学のもつ「知の資源」である教育、研究活動をわかりやすく表現し、地域住民をはじめ多くの方々に“学びの場”を提供する社会貢献活動の一環として、約20分の番組を毎年6本制作しており、2020年度までに139本を放送しています。

多摩地区近隣をはじめとする首都圏ケーブルテレビ各局を中心

に放送され、560万を超える世帯で視聴可能となっているほか、2010年より中央大学公式YouTubeでも配信を開始したことで、高校生などの若い世代にも視聴されています。

番組テーマは、IT、エンターテインメント、環境、危機管理、教育、経営、経済、グローバル、スポーツ、雇用、災害、生物、地域研究、文化、歴史などをはじめ、さまざまに区分することができ、学問を身近なものとして、学びの幅や興味・関心を広げていただけるきっかけとなることを目指しています。

■ 番組一覧

番組タイトル	担当教員（所属）
第128回 啓蒙思想家ディドロ・多彩なジャンルで先駆けとなったマルチタレント	田口 卓臣（文学部）
第129回 インバウンドと交通に関する研究	後藤 孝夫（経済学部）
第130回 地域の課題解決を目的とした商品・サービス開発に挑戦！ ソーシャル・アントレプレナーシップ・プログラム	柚木 理雄（商学部）
第131回 醤油業界から学ぶ現代ビジネスのヒント ～地域産業のダイナミック・ケイパビリティ理論～	野間口 隆部（国際経営学部）
第132回 マイクロ・ナノロボティクスについて	早川 健（理工学部）
第133回 サイバーカルチャーの未来	岡嶋 裕史（国際情報学部）
第134回 学生の学びを止めない闘い～中央大学コロナ禍奮闘記～	中央大学学事部、他
第135回 AI・データサイエンスセンターの取り組み	AI・データサイエンスセンター 所長 樋口知之（理工学部）
第136回 大学発・初ベンチャー「ソラリス」の取り組み	中村 太郎（理工学部）
第137回 デジタル・トランスフォーメーションとAI戦略	須藤 修（国際情報学部）
第138回 国境を超える紛争！日本と日本法が目指すべき姿	佐藤 信行（法務研究科）
第139回 中央大学におけるダイバーシティ推進の取り組み	中央大学ダイバーシティセンター
第140回 中央大学 ELSI センターの取り組み	中央大学 ELSI センター

番組タイトル一覧



キーワードからひく
「知の回廊」



株式会社大創産業創業者 矢野博丈氏に「2021年度中央大学特別招聘教授」の称号を授与

「2021年度中央大学特別招聘教授 称号授与式」において、株式会社大創産業の創業者である矢野博丈氏に本学初となる特別招聘教授の称号を授与いたしました。

矢野特別招聘教授は、理工学部土木工学科（現都市環境学科）をご卒業されており、去る7月12日のアントレプレナーシップの授業において、後輩となる学生たちに講義をしていただきました。

称号授与式では、称号記および記念品の贈呈が行われたのち、矢野特別招聘教授からご挨拶をいただき、母校への熱い思いをお話いただきました。

特別招聘教授は、ビジネス、科学、文化等、社会的に存在意義が高い分野において、きわめて顕著な実績を有し、本学にて寄付講座や講演会などに寄与していただいた方を対象に授与されます。各分野への貢献度、社会評価、国際性、本学学生への教育・研究的影響度を勘案して、本学の教育・研究活動の質の向上に寄与すると認められた場合に授与される称号となります。



櫻山理工学部長（当時）、矢野特別招聘教授、河合学長

総長職の廃止について

学校法人中央大学は、これまで理事長、総長（理事）及び学長（理事）を中心とする運営体制を採用してまいりましたが、令和の新たな時代における高等教育機関としてのさらなるガバナンスの強化及び権限と責任の一層の明確化を図るため、令和3年10月15日付で総長職を廃止いたしました。今後は、学校法人の理事長とその主たる設置学校の長である中央大学学長を中心として、両者のより緊密な連携に基づき、運営に当たることといたします。

2021年度中央大学秋卒業式を挙りました

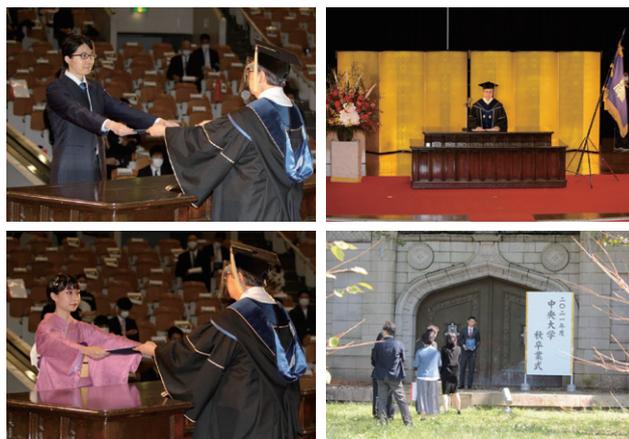
2021年9月19日、多摩キャンパス9号館クレセントホールにて、2021年度中央大学秋卒業式を挙りました。

法学部卒業生、経済学部卒業生、商学部卒業生、理工学部卒業生、文学部卒業生、総合政策学部卒業生あわせて97名の学生が式に出席しました。また、ご父母の方々68名にもご参列いただきました。

ソーシャルディスタンス確保のため、昨年度の秋卒業式と同様に、多摩キャンパスの大規模なホール(約2,200人収容)を式場とし、入場の際してホール入口にて手指消毒を実施しました。

広い会場での挙行となりましたが、学長式辞、理事長祝辞、各学部総代への卒業証書・学位記授与、卒業生代表からの答辞、卒業生の門出を一体感をもって温かく祝う式となりました。

式典終了後、同会場において、各学部ごとに分かれて、卒業生一人ひとりに卒業証書・学位記の授与が行われました。



CHUO Diversity × ハラスメント防止啓発 Week 2021 「戸惑いの時代のダイバーシティ」をオンライン開催

CHUO Diversity × ハラスメント防止啓発 Week 2021

戸惑いの時代のダイバーシティ

全てオンライン開催 (11/13のみハイブリッド開催)

11/4 ☺ - 11/13 ☺

ダイバーシティ推進とハラスメント防止啓発について考え、理解を深めながら、現代が抱える様々な課題に触れるウィークです。今年度はテーマを「戸惑いの時代のダイバーシティ」としました。昨年来のコロナ禍で、これまで私たちが疑わなかった「確かさ」が揺らいでいるさまを「戸惑いの時代」と表現しました。そのことを悲観するのではなく、すでに揺るぎのないものと信じていた価値観や社会の有り様を今一度考えなおすチャンスだと捉えて、皆さんと一緒に考え、学ぶウィークにしたい思いで開催しました。

一部を除いて今年度もオンライン開催とし、各種イベントを実施しました。

座談会	「留学生の語りから見えるもの」	11/4 (木) 17:00 ~ 18:40
遠藤まめた氏・河上りさ氏講演会	「トランスジェンダーの経験に触れてみよう」	11/5 (金) 13:20 ~ 15:00
Job Rainbow講演会	「社会人の新常識！ダイバーシティな職場とは何か ~LGBTフレンドリー企業の事例を中心に~」	11/6 (土) 13:20 ~ 15:00
座談会	商学部武石智香子ゼミ × ハラスメント防止啓発支援室 「心のモヤモヤ、考えてみませんか？」	11/8 (月) 12:40 ~ 13:10
犯罪被害防止講習	「ロジカル護身術 ~痴漢、性犯罪、ストーカーなどから身を守る~」	11/10 (水) 12:40 ~ 13:10
合同ゼミ発表会	「Diving into Diversity ~ダイバーシティにダイビング~」	11/11 (木) 10:50 ~ 12:30
渡正氏講演会	「パラリンピックは共生社会をもたらすことができるのか？ ~パラアスリートの多様性と限界~」	11/11 (木) 13:20 ~ 15:00
清水晶子氏講演会・ワークショップ	「第2回 知ろう！語ろう！Diversity！ ~インターセクショナルリティってなんだろう？~」	11/13 (土) 14:00 ~ 16:30

このWeek イベント以外にも、ダイバーシティセンターでは連続セミナー、座談会、講演会を多数開催しています。

駐日ベナン共和国大使館と覚書を締結

2021年9月29日(水)、後楽園キャンパスにて駐日ベナン共和国大使館と覚書を締結いたしました。本覚書では、本学後楽園キャンパスに隣接する駐日ベナン共和国大使館と、国際連合が定めた持続可能な開発目標において相互に協力することに合意し、学術交流の促進に相互に協力し、社会の発展に寄与することを目的としています。



河合学長、マカリミ ベナン大使